

聖霊降臨節第14 主日礼拝
2021年8月22日 10:30
日本基督教団 代々木上原教会 礼拝堂

司式:廣石望牧師
奏楽:ヒムプレーヤー

前奏

招詞 アモス書5章24節

正義を洪水のように／恵みの業を大河のように／尽きることなく流れさせよ。

讃美歌 11番(感謝に満ちて) *3 ページをごらんください

聖書朗読

旧約聖書 イザヤ書5章1～7節

1 わたしは歌おう、わたしの愛する者のために／そのぶどう畑の愛の歌を。わたしの愛する者は、肥沃な丘に／ぶどう畑を持っていた。2 よく耕して石を除き、良いぶどうを植えた。その真ん中に見張りの塔を立て、酒ぶねを掘り／良いぶどうが実るのを待った。しかし、実ったのは酸っぱいぶどうであった。3 さあ、エルサレムに住む人、ユダの人よ／わたしとわたしのぶどう畑の間を載いてみよ。4 わたしがぶどう畑のためになすべきことで／何か、しなかったことがまだあるというのか。わたしは良いぶどうが実るのを待ったのに／なぜ、酸っぱいぶどうが実ったのか。5 さあ、お前たちに告げよう／わたしがこのぶどう畑をどうするか。囲いを取り払い、焼かれるにまかせ／石垣を崩し、踏み荒らされるにまかせ6 わたしはこれを見捨てる。枝は刈り込まれず／耕されることもなく／茨やおどろが生い茂るであろう。雨を降らせるな、とわたしは雲に命じる。7 イスラエルの家は万軍の主のぶどう畑／主が楽しんで植えられたのはユダの人々。主は裁き(ミシュパト)を待っておられたのに／見よ、流血(ミスパハ)。正義(ツェダカ)を待っておられたのに／見よ、叫喚(ツェアカ)。

新約聖書 エフェソの信徒への手紙 4章1～6節

1 そこで、主に結ばれて囚人となっているわたしはあなたがたに勧めます。神から招かれたのですから、その招きにふさわしく歩み、2 一切高ぶることなく、柔和で、寛容の心を持ちなさい。愛をもって互いに忍耐し、3 平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。4 体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです。5 主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つ、6 すべてのものの父である神は唯一であって、すべてのものの上であり、すべてのものを通して働き、すべてのものの内におられます。

祈 禱

説 教「平和のきずな」

廣石望牧師

祈 禱

讃美歌 358 番(小羊をばほめたたえよ！ 1, 3, 4 節) *5 ページをごらんください

献 金

(礼拝当番による祈りに続いて「主の祈り」をささげましょう。)

天にまします我らの父よ。願わくは御名(みな)をあげさせたまえ。御国(みくに)を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も 与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦(ゆる)すごとく、我らの罪をも赦したまえ。

我らを試(こころ)みにあわせず、悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝(なんじ)のものなればなり。アーメン。

祝 禱(派遣と祝福)(ご無理のない方はご起立ください)

後 奏

感謝にみちて

Nun danket alle Gott

詞：Martin Rinkhart, 1586-1649

NUN DANKET

曲：Martin Rinkhart, 1586-1649

1 感謝にみちて みかみをたたえん。
 2 わがいのちのすべてのひびを
 3 栄光とさんび ささげてうたわん。

すべてささげ みわざをうたわん。
 めぐみしゅくしへい わをあたえ、
 ちちなるかみ み子とせいれいに、

はのたいにありし日よりあ
 いかにかきあやみすらもあ
 むかしいまし いまもいましと

が ない た もう か み の ち か ら。
 ▶ わ れ み も て い や し た ま わん。
 わ に い ま す ひ と り の 主 に。

(♩=58)

- 1 ^{かんしゃ}感謝にみちて ^{かみ}み神をたたえん。
 すべてささげ みわざをうたわん。
^{はは}母の^{たい}胎に ^ひありし日より
 あがないたもう ^{かみ}神の^{ちから}力。

- 2 わがいのちの すべての^{ひび}日々を
^{めぐ}恵み^{しよく}祝し ^{へいわ}平和をあたえ、
 いかに^{ふか}深き ^{なや}悩みすらも
 あわれみもて いやしたまわん。

- 3 ^{えいこう}栄光と^{さんび}賛美 ささげて^{うた}歌わん。
^{ちち}父なる^{かみ}神 ^こみ子と^{せいれい}聖霊に、
^{むかし}昔いまし ^{いま}今もいまし
^{とわ}永遠にいます ^{しゅ}ひとりの主に。

ア-メン。

詩22:10-11 エレ1:5 マタ21:16 (シラ50:22-24)

Crown Him with many crowns
詞：Matthew Bridges, 1800—1894DIADEMATA
曲：George J. Elvey, 1816—1893

こひつじをばほめたたえよ！

たえなるうたごえてんにみちて。

かみのたまよ、めぐみの主に

さかえのかむりをささげうたわん。アメン。

(♩=88)

① 小羊をばほめたたえよ！
たえ うたごえ てん み
 妙なる歌声 天に満ちて。
かみ たみ めぐ しゅ
 神の民よ、恵みの主に
さか かむり
 栄えの冠を ささげ歌わん。

③ いのちの主をほめたたえよ！
し ちから しゅ
 死をほろぼしたる力の主を。
かみ たみ めつかつ しゅ
 神の民よ 復活の主に
さか かむり
 栄えの冠を ささげ歌わん。

④ 主なるイエスをほめたたえよ！
おほい おほい
 すべてを治める支配の主を。
へいわ しゅ
 とわにいます 平和の主に
さか かむり
 栄えの冠を ささげ歌わん。

黙5：12 イザ5：5-7 ヨハ1：29-36